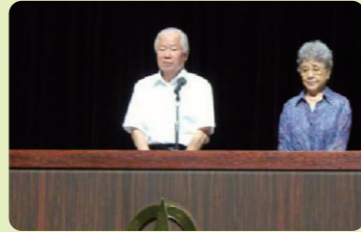


第33回 人権講演会から

講師 横田滋さん・早紀江さん



平成23年8月17日(水)
於/小山市立文化センター

“連れ去られた子どもと私たちの人権”

横田滋と早紀江の間に生まれた女の子、私はその子に「めぐみ」と名付けました。

その時、私たちが望んだことは、ほんのささいなことでした。『人並みの幸せ』

しかし・・・

新潟県の寄居中学校に通うめぐみ(13歳)は、昭和52年(1977)11月15日、友達と3人で下校途中、ちょうど学校と家の中間ぐらいの地点で友達と別れて以来、行方不明になってしまいました。新潟県警始まって以来という大捜索を展開してくださいました。

[有力な情報がないまま…]

平成9年(1997)1月21日、政府の関係者の方から「お嬢さんは北朝鮮の工作員に拉致されて、平壤(ピョンヤン)に居るらしいという情報が入りました。」という電話をいただきました。新潟の人がこれは新潟で起きたんだから、「横田めぐみさん救出の新潟の会」をつくらうということで、めぐみのための救出組織ができたわけです。そして家族会が結成されました。(行方不明者が)たくさんいる中で、7人だけが集まって会を作ったわけなんです。名乗りをあげたら兄弟とか子どもの就職とか結婚に差し支えるからということで、名乗りをあげなかった人もたくさんいました。

本当はこのようなことはお話してはいけないのかもしれませんが、けれどもこの拉致という問題は、誰も予想もしないような、日本の国家の中の、道路で、浜辺で、平和に暮らしている国民の、何の罪もない、前途有望な、これから何かしてこの国のためにと思っている人たち、そういう人たちが歩いている時に、ばあっと捕まえられて、袋をかぶせられたままで、あの日本海を長い長い時間揺られて、連れて行かれて・・・そこから北朝鮮の中でめぐみは34年間もまだ幽閉されているんです。

北朝鮮との国際問題、ただ「拉致された者を帰してください」とたったそれだけの簡単なことなのに、どうしてこんなにややこしいことになっていくのでしょうか。拉致問題は解決に向かうかと思えば逆戻りし、何回もこれを繰り返して今日に至っております。

めぐみが帰ってきたら、今の新しい日本を見せてあげたい。

どうか皆さん、もう2度と起きてはならない拉致という自由を奪う行為を、忘れないでください。
(人権講演会講話内容から一部リーフレット用にまとめたものです)



おやましやくしよじんけんすいしんか
小山市役所人権推進課
☎0285-22-9292
おやましきよういくいんかいしやうがいかくしやうか
小山市教育委員会生涯学習課
☎0285-22-9663

人権相談

毎月第2金曜日(予約不要)
午前10時～午後3時 小山市役所内
(場所は人権推進課にお問い合わせください。)

ふれあいと思いやりのあるまち

おやま

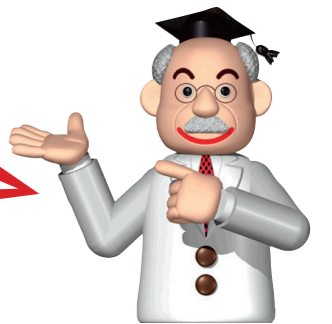
こころとこころで向き合っていますか!

身近なところから考えてみよう



おやまバルーンフェスタ

きれいじゃのお～。
思川を会場に、多数のカラフルなバルーンが
澄んだ秋空に舞い上がるころじゃ。
ひとそれぞれに「個性」があるように、
バルーンも一つ一つ違った色をしておる。
いろいろな色があっていいのお～。



じんけん博士

小 山 市
小 山 市 教 育 委 員 会

ホームページ「小山人権の扉」
URL <http://www.oyama-tcg.ed.jp/~jinken/>

